

小中学校適正配置・部活動地域展開特別委員会

日時	令和8年9月16日（水）
	午前10時
場所	第三委員会室

○ 議 題

《文化創造推進課》

- 1 文化芸術に係る学校連携事業について

《スポーツ振興課》

- 2 八戸市をホームタウンとするプロスポーツチームと

中学生の関わりについて

- 3 「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」開催に係る活動等について

- 4 Y S アリーナ八戸での吹奏楽演奏について

○ その他

《学校教育課》

- ・ 部活動の地域展開における地域との関わり及び中学校体育大会等の在り方について

文化芸術に係る学校連携事業について

1. 学校音楽鑑賞教室【文化創造推進課】

(1) 概要

「はちのへ文化のまちづくりプラン」に掲げる取組方針「子どもたちの文化芸術の鑑賞や学びの機会の充実」に基づき、市内小規模小学校等を対象に音楽鑑賞教室を実施。

音楽家による本格的な生演奏を学校で体験することで、児童の芸術への関心を高め、豊かな感性を育むことを目的とする。

(2) 昨年度からの変更点

令和8年度は、小規模校での開催に加え、特別な支援を要する子どもたちの鑑賞や参加機会の充実を図ることを目的に、特別支援学校でも開催する。

(3) 実施状況

① 特別支援学校) 青森県立八戸第一養護学校

実施日：令和8年9月17日（木）10：45～

会 場：八戸第一養護学校体育館

出 演：インフィニート・コラルコ弦楽合奏団

② 小規模校) 金浜小学校 ※種差小・大久喜小合同

実施日：令和8年9月24日（木）10：00～

会 場：金浜小学校体育館

出 演：デビット・マシューズ ジャズバンド



令和7年度種差小学校(大久喜小・金浜小合同)体育館での演奏会様子

2. 八戸市美術館学校連携事業【美術館】

(1) 概 要

八戸市美術館では「アートの学び」の充実を目的に、小・中・高等学校との連携事業を継続的に実施している。

「学校連携プロジェクトチーム」を中核に、教員・学芸員・専門家が協働し、児童生徒の感性や創造力、自己肯定感を育む多様な活動を展開している。

(2) 令和8年度の主な事業

① 開館5周年学校連携事業 「大きな絵プロジェクト」

児童生徒が学校や学年の枠を越えて一つの作品づくりに参加し、8m×10mサイズの大きな絵を制作するプロジェクトで、前回の令和3年8月実施以来、2度目の制作となる。

今回のテーマは「海」。高校生が構想した大きな海の風景を、中学生と高校生が共同で制作、小学生から高校生までの児童生徒が制作した海の生き物を組み合わせ、一つの大きな作品として完成させる。完成した作品は、美術館ジャイアントルームで展示する。



完成・展示イメージ図



大きな海 下絵



大きな海 制作風景

○制作・展示スケジュール

令和8年8～9月	制作
10～11月	展示準備
12月中	美術館にて展示

② 学校招待プログラム

児童生徒に美術館での鑑賞体験を提供するため、令和7年度より、学校招待事業を実施。学校から美術館までの貸切バスの手配及び観覧料を当館で負担することにより、学校の負担を軽減し、児童生徒には、美術館ならではの鑑賞体験の機会を創出する。

令和8年度は、学校連携プロジェクトチームメンバーの所属校や朝鑑賞実施校を中心に、小学校2校、中学校4校、計361名を招待する。



令和7年度学校招待プログラム 鑑賞の様子

3. 文化・芸術等のイベント情報発信（LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」） 【美術館】

（1）概 要

八戸市美術館では、八戸歴史文化発信事業実行委員会（理事長：小倉 学）との協働により、八戸の歴史・文化・芸術等に触れる機会を創出するため、令和6年度より、イベント情報を発信する LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」を運営している。

「ヨッテミッテ」登録者には、毎週金曜日に、美術館をはじめ、共創パートナーである市内の各施設や店舗で開催される文化・芸術等のイベント情報を発信しており、八戸市の子どもたちをはじめ、市内外の幅広い世代が、地域の歴史・文化・芸術に触れる機会やイベントへの参加につながる情報を提供している。

（2）児童・生徒への情報提供の強化

子どもや親子で参加できるイベント、学びや体験につながるワークショップ等の情報を、児童・生徒及びその保護者が手軽に収集し、参加する機会につなげるため、昨年度に引き続き、市内の小・中学校を通じて案内文を配付し、「ヨッテミッテ」の登録・活用を呼び掛けた。

配付先 市内小学校 41 校
中学校 24 校
配付数 約 15,000 枚
実施時期 令和8年5月

八戸市美術館からのお知らせ /
LINE 公式アカウント
ヨッテミッテのご案内



はちのへ歴史文化イベント情報発信
ヨッテミッテとは？

ヨッテミッテは地域の歴史・文化・芸術を楽しむためのイベント発信事業です。LINE登録で地域のイベント情報が受け取れ、チラシも見られます。

八戸市では、LINE「ヨッテミッテ」を通じて、八戸市の子どもたちはもちろんのこと、市内外の皆様が、八戸市の歴史、文化や芸術などに触れることができよう、イベント情報を発信しております。ご登録いただきますと、市内の文化芸術に関する魅力的なスポットや、各文化施設等で随時開催される**子ども・親子も楽しめるイベント情報（学び・体験型ワークショップ含む）**を、手軽に収集できますので、是非、ご活用ください。

ご登録はこちらから！

お問合せ 八戸市美術館
電話：0178-45-8345 宗石・田中
メール：art@city.hachinohe.aomori.jp

「ヨッテミッテ」にLINE登録すると、1週間ごと（土・金）の八戸市の歴史・文化・芸術関係のイベント情報を毎週金曜日に配信します。▶▶▶▶▶



ヨッテミッテ案内文

4. パフォーミングアーツ事業【八戸ポータルミュージアム】

(1) 概 要

パフォーミングアーツ事業で招聘するアーティストを講師に、講義やワークショップを実施する。

(2) 令和8年度の市内教育機関及び高校生が対象の事業

① 八戸市内高等学校演劇部交流ワークショップ

パフォーミングアーツ公演に出演するアーティストを講師に、市内高等学校演劇部に所属する高校生を対象としたワークショップを行う。

実施時期	令和8年11月1日(日)
実施場所	はっち5階共同スタジオ
講 師	MICHInoX (ミチノークス)



↑ 令和7年度 演劇部交流ワークショップ(講師:PANCETTA)の様子

② 八戸工業大学感性デザイン学部 感性デザイン学科連携 メディア表現論 学内講義 (アウトリーチ)

八戸工業大学へ出向き、感性デザイン学部 感性デザイン学科の「メディア表現論」学内講義として、アートマネジメントの現場に関する講義を行う。

実施時期	令和8年11月2日(月)
実施場所	八戸工業大学
講 師	MICHInoX (ミチノークス)

※参考：パフォーミングアーツ事業関連企画

①演劇公演	②公開講義
日 時：令和8年12月5、6日 会 場：はっち2階シアター2 出演者：MICHInoX（ミチノークス）	日 時：令和8年10月31日 会 場：はっち2階シアター2 出演者：MICHInoX（ミチノークス）



劇団 | MICHInoX（ミチノークス）
宮城県仙台市を拠点に活動する劇団。
2011年4月、東日本大震災を機に「震災後の仙台、そして日本を励ましたい。」という想いのもと結成。
舞台製作に限らず、ワークショップや博物館との教育普及プログラムなど、幅広い活動を行う。

5. サイダーとラムネづくりで学ぶ 科学実験ワークショップ【八戸ブックセンター】

(1) 概 要

「本のまち八戸ブックフェス 2026」関連イベントとして開催。

「おいしい！がわかる 小学生からのお菓子の科学」の著者・^{きむら まきこ}木村万紀子先生を講師に迎え、小学生を対象に、つくって、食べて、科学の「なぜ？」を体感しながら、おいしい探求を楽しむお菓子づくりワークショップを実施する。



(2) 実施概要

対 象	小学生
日 時	令和8年9月26日(土) ①13:00～14:30 ②15:30～17:00
会 場	八戸ポータルミュージアム はっち (1階 はっちひろば)
講 師	^{きむら まきこ} 木村 万紀子 (サイエンス・クッキング・プロデューサー)
定 員	30 名
参 加 費	無料



八戸市をホームタウンとするプロスポーツチームと中学生の関わりについて

1 東北フリーブレイズ《アイスホッケー》

(1) チーム紹介

創設のまちを福島県郡山市、ホームタウンを八戸市・東京都とするプロアイスホッケーチーム。

チーム名は、「フリー」：氷上を「自由自在」に翔けあがり、「ブレイズ」：氷上を「鋭く」切り拓いていくチームという意味が込められている。

クラブマスコットは『ブレイジー』。

アジアリーグアイスホッケーに参戦し、昨季 2025-26 シーズンは 6 チーム中 4 位。



(2) 東北フリーブレイズが行う取組と中学生との関わり

① CRYSTALBLADES（東北フリーブレイズ傘下の中学生以上の女性クラブ）

経験、職業などを問わず幅広い世代の女性が参加してアイスホッケーの魅力をより多くの人に伝えることなどを理念に、フラット八戸を本拠地として活動するクラブ。全日本女子選手権大会 C グループ等の大会に出場。

(22 名が所属。うち中学生 11 名、高校生 5 名、大学生 3 名、社会人 3 名)



② FREEBLADES U16 DEVELOPMENT CAMP

中学生年代の育成強化を目的とし、選手・スタッフから基本的なアイスホッケースキル向上のための指導を行うトレーニングキャンプ。

参加対象は、男子（中学1年生～3年生）と女子（中学生以上）。



③ フリーブレイズ U15 スクール

競技力向上と健全な育成を目的として、選手等が指導を行うスクール。

参加対象は、中学1年生～3年生の男女と小学6年生の男女。



④ 夢授業

学校からの要請を受け、小・中学生を対象に選手が学校へ出向いて行う講演。

プロアイスホッケー選手が夢を達成するために大事にしていることや達成へのプロセス、夢を持つことの大切さなどを直接子どもたちに伝えるとともに、選手を身近に感じてもらうための機会。



⑤ フロアボール体験

学校からの要請を受け、小・中学生を対象に選手が出向いて行う教室。

学校体育の一環として、アイスホッケーのようにスティックを用いるニュースポーツで、スケートを履かなくてもできるフロアボールを選手と子どもたちが一緒に行うことで、アイスホッケーなどのスポーツへの興味・関心を持ってもらうきっかけづくり。



⑥ スケート教室

小・中学校などを対象に、学校体育として行われるスケート教室での指導。

選手が講師を務め、スケートに親しむための指導と、スケートへの興味・関心を持ってもらうきっかけを醸成。



2 ヴァンラーレ八戸 F C《サッカー》

(1) クラブ紹介

県内三八・上北全域 16 市町村をホームタウンとするプロサッカークラブ。

クラブ名の由来は、イタリア語の「デリヴァンテ（起源）」と「アウストラーレ（南の郷）」を合わせた造語で、「クラブの起源は八戸と南郷にある」という意味が込められている。

クラブマスコットは『ヴァン太』。

昨季 2025 シーズンは、J 3 リーグで 2 位となり、J 2 に昇格。

今季 2026-27 シーズンから、クラブ初の J 2 に参戦。

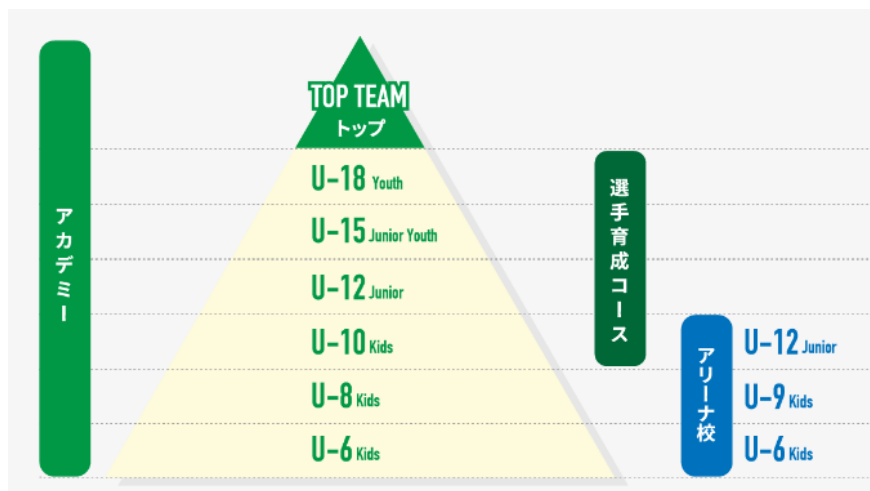


(2) ヴァンラーレ八戸 F C が行う取組と中学生との関わり

① アカデミー (U-15)

ヴァンラーレ八戸 F C はトップチームを頂点とした組織化されたアカデミーで構成。

アカデミーはカテゴリーごと、一貫性のある指導体制のもとでレベルアップが図られており、U-15 のカテゴリーに中学生が在籍。



< 直近 10 年間の選手数 >

年度\学年	中 1	中 2	中 3	男子合計	女子
H29	15	13	14	42	2
H30	22	15	12	49	2
R 元	15	18	15	48	3
R 2	20	13	18	51	1
R 3	21	20	13	54	1
R 4	25	21	20	66	3
R 5	30	25	21	76	3
R 6	29	24	25	78	4
R 7	21	30	24	75	1
R 8	24	22	30	76	2

※R 7 年度の中学 1 年生入団時から、セレクションを実施。



② スクールトリップデー

ヴァンラーレ八戸F Cホーム戦を特別に平日午後に組み、地元企業等の協力のもと、子どもたちに教育的価値を提供するため、社会科見学と試合観戦を行う取組。

プライフーズスタジアムを会場に、午前中は公務職場や地元企業の職業体験等を行い、午後はホーム戦を観戦。

今季は、9月18日（金）のJ2リーグ、テゲバジャーロ宮崎戦で実施予定。



③ 夢の講話「ヴァンラーレタイム」

ヴァンラーレ八戸の選手等がホームタウンの学校に出向いて行う講演。体験談を通じて、夢や目標を持つことの大切さを子どもたちに伝えるとともに、選手を身近に感じてもらうための取組。



④ ホーム戦の運営協力

市内中学生のヴァンラーレ八戸F Cホーム戦での運営協力。

ホーム戦では、ボランティアを含む多くのスタッフの協力が必要となるが、各試合に中学校サッカー部やヴァンラーレ八戸F C U-15 の選手たちが補助スタッフとして、ボールパーソンや担架での負傷者搬出など運営に協力。



3 青森ワッツ《バスケットボール》

(1) チーム紹介

青森市をホームタウンとするプロバスケットボールチーム。

青森県の方言 で「とても熱い」を『わぁあつつ』、また「力強く」や「スピーディに」を『わつつ、わつつど』『わつつり』と言うことから、熱く力強いスピーディなゲームを観戦し、選手もブースターも一丸となって、心も体もホットになろう！！という願いと、青森への思いを込めて付けられたチーム名。

クラブマスコットは、『デッチ』。

昨季 2025-26 シーズンは、B2 リーグに参戦し、東地区 7 チーム中 7 位。

今季から B リーグのカテゴリー等の再編が行われ、2026-27 シーズンは B. LEAGUE ONE 北地区に参戦する。

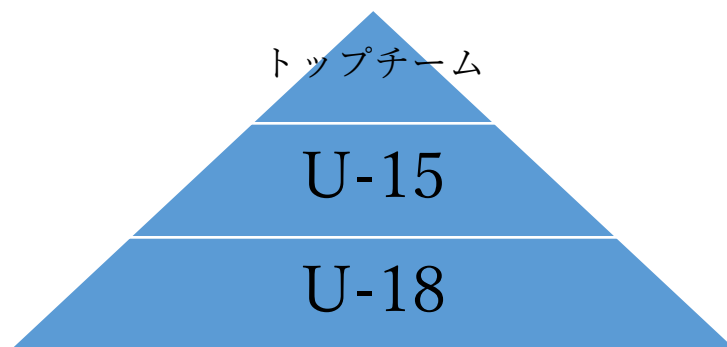


(2) 中学生との関わり

① アカデミー (U-15)

青森県のより良いバスケットボール環境と機会を整え、ジュニア世代選手を幅広く育成・強化することを目的に U15 を設置。

地域に根差し、青森の育成世代を牽引する人材の育成のため、トップチームの下に、ユースチーム (U-15、U-18) を設置し、バスケットボールの競技力向上はもちろん、人間的成長を大切にし、将来を見据えた育成活動を行っている。



＜青森ワッツ U-15 シーズンごとの選手数＞

	選手数
2019-20 シーズン	35 名
2020-21 シーズン	38 名
2021-22 シーズン	24 名
2022-23 シーズン	15 名
2023-24 シーズン	16 名
2024-25 シーズン	16 名
2025-26 シーズン	17 名

※青森ワッツ U-15 は、2019 年に創設。



② バスケットボールスクール

小1～中3を対象に県内3か所（青森市・八戸市・つがる市）で行うスクール。

年間40回の活動を通して、高度なテクニックの習得を目指す。Bリーグのオフシーズンには、選手から直接指導を受けられる機会あり。



③ チアスクール

小1～高3を対象に県内4か所（青森市・八戸市・弘前市・つがる市）で行うチアスクール。

年間40回のレッスンを通じ、高度なチアダンスやテクニックの習得を目指しており、日頃の練習の成果をホームゲームや地域イベントへの出演などで披露。



4 HACHINOHE DIME（八戸ダイム）《3人制バスケットボール3x3》

(1) チーム紹介

八戸市をホームタウンとする3人制バスケットボール「3x3（スリー・エックス・スリー）」のプロチーム。

バスケットボールにおいて「DIME（ダイム）」とは、得点に直結するような素晴らしいパス（アシスト）を指し、HACHINOHE DIME では、①チームメイトのためのアシスト、②応援してくれる人たちへのアシスト、③人と人が心のアシストで繋がるチームをコンセプトに掲げている。

昨季 2025 シーズンは 3x3. EXE PREMIER に参戦し、年間成績 36 チーム中 3 位。



(2) HACHINOHE DIME（八戸ダイム）が行う取組と中学生との関わり

① バスケットボール教室（スクール）

バスケットボールのスキル習得や技術向上のために開催されているスクールに中学生クラスを設置。

スクールは、年代別に、幼児クラス、小学校低学年クラス、小学校高学年クラス、中学生クラスに分かれており、自らの頭で考える、他視点で見る、良く聞き理解することを理念に、スキル習得はもちろん、バスケットボールに必要な協調性を身につけつつ、個性や自主性を磨くことについても指導。



② 中学生を対象とした 3x3 の大会開催

3x3. EXE PREMIER ホーム戦と合わせて行われる中学生を対象にした 3x3 の大会。

ホーム戦と同じ会場（FLAT HACHINOHE など）で年 2 回開催され、中学生にプロスポーツの雰囲気を感じてもらえる機会を提供。



「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ」開催に係る活動等について

1 手作り応援のぼり旗の作成

全国から訪れる選手・役員等を歓迎、応援するため、クラスや部活動単位により児童・生徒が都道府県別の応援のぼり旗を作製し、各競技会場等に装飾するもの。

【実績】国スポ冬季大会（1/31～2/8）

- ・小学校 41 校 116 枚
- ・中学校 26 校 72 枚
- ・のぼり旗設置場所…Y S アリーナ八戸、テクノルアイスパーク八戸、
FLAT HACHINOHE

国スポ本大会（10/7～10/19 予定）※冬季大会とは別に同じ枚数を作製済み

- ・小学校 41 校 114 枚
- ・中学校 26 校 72 枚
- ・のぼり旗設置場所…正式競技 7 競技 9 会場
(八戸自転車競技場、プラフーズスタジアム、
東運動公園陸上競技場、南郷陸上競技場、
ゆりの木ボウル、FLAT HACHINOHE、東体育館、
長根公園野球場、東運動公園野球場)



FLAT HACHINOHE（冬季大会時）



Y S アリーナ八戸

(5/31 デモンストラレーションスポーツ
空道競技開催時)

※冬季大会用に作成したものを設置

2 学校観戦

本市の未来を担う児童・生徒にとって、国スポはトップアスリートの力と技を間近で体感することができる又とない機会であり、スポーツへの関心を高め、心身の健全な発達やスポーツに親しむきっかけとするため、学校観戦を実施するもの。

※本大会については、主に小学校5・6年生、中学校1・2年生対象

【実績】国スポ冬季大会（1/31～2/8）※各会場徒歩圏内の小中学校対象

- ・小学校6校

- ・中学校4校

- ・観戦場所…Y Sアリーナ八戸、テクノルアイスパーク八戸、FLAT HACHINOHE

【予定】国スポ本大会（10/7～10/19）

- ・小学校41校中38校

- ・中学校26校中23校

- ・観戦場所…八戸自転車競技場、プライフーズスタジアム、

南郷陸上競技場、FLAT HACHINOHE、東体育館、長根公園野球場



FLAT HACHINOHE（冬季大会時）



Y Sアリーナ八戸（冬季大会時）

3 地元中学生出場競技・選手＜会期前競技・主会期競技＞

(1) 競泳

日程会場：9/10(木)～9/13(日) 青森市（マエダアリーナ 50mプール）

出場選手：工藤 史朗（くどう しろう）選手 東中学校3年

【結 果】少年男子B 400m自由形 4分10秒29 予選18位

(2) ゴルフ

日程会場：9/9(水)～9/11(金) 青森市（青森カントリー倶楽部）

出場選手：工藤 夏姫（くどう なつき）選手 根城中学校3年

【結 果】団体18位タイ 446(222<梅本 74 工藤 74 佐藤 74>、224<梅本 75 工藤 75 佐藤 74>)
個人50位タイ 149 (74、75)

(3) スポーツクライミング

日程会場：10/11(日)～10/13(火) 青森市（盛運輸アリーナ）

出場選手：中村 ほのか（なかむら ほのか）選手 下長中学校3年

YSアリーナ八戸での吹奏楽演奏について

1 経緯等

一般社団法人青森県スケート連盟では、新たなスピードスケートファン層の拡大を目指し、スケートリンクに足を運んでいただく機会の創出について模索し、一方、八戸地区吹奏楽連盟では、暑さ対策から、夏季に市庁舎前で開催していた野外コンサートの会場見直しを検討する中、双方のねらいや課題解決につなげるようとする思いが一致し、YSアリーナ八戸での吹奏楽演奏が立案された。

2 開催概要

日 程	① 8 月 22 日(土) 10:30～13:50 8 月 23 日(日) 11:00～14:00	② 9 月 5 日(土) 10:00～13:30
演奏場所	YSアリーナ八戸 3階観戦ロビー及び2階観客席	YSアリーナ八戸 屋外芝生広場（つつみ広場）
出演団体 (市内小中学校抜粋) ※演奏順 (一部合同演奏有)	・根城中学校 ・三条小学校 ・三条中学校 ・湊中学校 ・八戸小学校 ・第二中学校 ・白銀南ウィンドアンサンブル 【計 7 団体】	・長者中学校 ・小中野小学校 ・小中野中学校 ・鮫中学校 ・江陽中学校 ・市川中学校 ・八戸聖ウルスラ学院中学校 ・白銀南ウィンドアンサンブル Jr ・下長中学校 ・白山台中学校 【計 10 団体】
備 考	2026 長根サマースピードスケート競技会内での開催	

3 開催時の様子



4 開催による効果等

今回の吹奏楽演奏を通じ、スケート〈スポーツ〉と吹奏楽〈文化〉という異なる分野が連携することによって、来場者がスケートと音楽に触れる機会の創出と、施設来場者数の増加、選手パフォーマンスへの好影響、良好な環境下、大勢の前で演奏することでの技術・モチベーションの向上などにつながった。

＜YSアリーナ八戸入場者数（長根サマー競技会時：土曜・日曜 2 日間合計）

令和 7 年度 3,758 名 令和 8 年度 4,635 名：前年比 877 名の増＞

部活動の地域展開における地域との関わり及び中学校体育大会等の在り方について

1 競技ごとの出場形態一覧（直近の夏季中体連大会について）

- ・学校単位、合同チーム、地域クラブ単位別の出場チーム数
- ・競技ごとの上位大会（県大会等）への接続ルール

競技名	学校	合同チーム	地域クラブ	接続ルール
陸上	21	不可	1	上位 4 名 上位 4 チーム
軟式野球	11	3 (計8校)	1	上位 3 チーム 県大会・少年野球大会 上位 2 チーム 県南大会
サッカー	10	2 (計6校)	3	上位 3 チーム
バスケットボール（男子）	14	0	0	上位 3 チーム
バスケットボール（女子）	12	1 (計2校)	1	上位 3 チーム
バレーボール（男子）	6	0	1	上位 3 チーム
バレーボール（女子）	13	0	0	上位 3 チーム
バドミントン	2	不可	1	団体上位 3 チーム シングルス・ダブル共に上位 8 名
ソフトテニス（男子）	8	不可	1	団体上位 2 チーム 個人各階級上位 3 名
ソフトテニス（女子）	14	不可	1	団体上位 2 チーム 個人各階級上位 3 名
卓球（男子）	14	不可	3	上位 3 チーム 個人ベスト 16 まで
卓球（女子）	9	不可	2	上位 3 チーム 個人ベスト 16 まで
柔道（男子）	4	不可	1	団体上位 2 チーム 個人各階級上位 4 名
柔道（女子）	3	不可	1	団体上位 2 チーム 個人上位 12 名
剣道（男子）	9	不可	0	団体上位 2 チーム 個人上位 12 名
剣道（女子）	7	不可	0	団体上位 2 チーム 個人各階級上位 3 名
相撲	0	不可	1	県大会はオープン参加
体操	1	不可	2	個人総合上位 5 位
※ソフトボール	地区大会の開催はなし			県大会から出場
※水泳	地区大会の開催はなし			県大会から出場
合 計	159	6	20	

2 部活動地域展開の進捗状況および今後のスケジュール

(1) 競技ごとの現在の移行状況（令和8年度の休日の地域展開）

	競技名 …全中廃止予定の競技	地域展開の状況	
		市地域クラブ活動(休日)の実施	地域のクラブチームへ移行
1	陸上	○	
2	水泳		○ 愛好会等として活動
3	新体操	令和8年度夏季大会後、生徒ゼロ	
4	ソフトテニス	○	
5	バドミントン	○	
6	柔道	○	
7	剣道	○	
8	相撲		○ 八戸相撲クラブ
9	スケート	○	
10	アイスホッケー		○ 学校チーム1校 (令和9年度よりクラブ化)

※市地域クラブ活動（休日）…市内の中学生が希望する活動に参加できる、市教育委員会が運営するクラブ活動。

※今後は、団体競技における休日の部活動の地域展開について推進する。

(2) 今後の段階的移行に向けた方針と計画

①方針

- ・まずは休日における部活動を地域展開し、生徒の活動機会を確保することを優先して進めていく。
- ・一方で、平日に地域のクラブチーム等に参加する生徒が増加傾向であることから、こうした地域の関係団体とも協力関係を構築し、可能なものから平日の地域展開に移行する。

②計画

- ・令和11年度までに、可能な限り、休日の中学校部活動において地域展開を実施。
- ・令和13年度までに、休日の中学校部活動を廃止し、部活動を平日のみとする。

3 地域のクラブチーム等に所属している生徒の校内行事等での扱いについて

○地域のクラブチーム等に所属する生徒が、三八中体等に出場する際には、壮行式、報告会、表彰等への参加について、校長会等でも情報共有がされており、各校とも部活動に所属する生徒と同様の扱いをしていると伺っている。